

理研会報

発行 理科研究部 事務局
〒500 成田市成田50
成田小

新春を迎えて 研究部長 板橋 義夫

記録的な晴天続きの新春を迎え

ました。先生方には念々御座務のこととお喜び申し上げます。また旧年中は特別のお慶折りを蒙りお喜び申し上げますが、全国初研出席をはじめとして多方面にわたり研究部の業績をおあげいただき、研修と努力を重ねたいと存じます。

理科の発展をわが指導にしたい

理科の発展をわが指導にしたい。やさしい言葉にしたいと考えるとき、どのようにしたらいいか悩みの種である。多種多様な自然科学の対象の中で、そのすべてを授業にとり入れることは不可能である。そこで自然科学の基本的性質、保存性といったことや、物の物理的・化学的変化を通してエネルギーの出入りに目をむけるといったようなことを系統立てて指導することが、この膨大な科学の

内容に前赴しうらと思われ、このことがとりもたずさず最も大切なことではないかと思われ、このしたならいから化学変化で何を教えるかといったテーマで考へてみると、中学一年生の指導で研

な問題ではないかと思われ、そのための手だてとしてイオンを水溶液中の存在物としてとらえ、その心るまいとして化学変化をとらえさせる。②そのために電流の伝導度を測定し、グラフをつくり、モデルをつくらせて思考させる。イオンを電離のつがまさせる。③イオンの指導を一年生の初歩の系統をふまえて指導する。ということが有効であると思われる。そのうした過程を通してイオンの概念を正しく指導することができると正しく広く応用がきき、三年生段階での酸化還元反応もイオン概念で有効に指導することができると、これらを発展させていくと金属の性質、物質と電気の関係の本質にせまるのに有効となる。化学教材の中で、どう種子概念をどの教材でどのように発展させていくかの検討をしたのが研究はまだ不十分であり、今後、この問題を研究していきたい。

理科研究部活動の回顧

理科研究部活動の回顧。五分利会、理科教育中学校分會で、研究テーマの現場で困っている問題、とくに子どもものまですと教師が教えるに困っている問題を拾い上げて、これらの問題を果敢に検討して、ひとりひとりの教師の明日の授業の指針が具体的に明らかになるようにする。②改訂学習指導要領をこれからの実践の研究にもついでに基本

理科研究部活動の回顧

理科研究部活動の回顧。合っているような状態におちいり一時休憩して、またあとでということになった。やはり指導の指針を、つがみはく、分野ごと、感した。同時に、時間をかけ、研究のすすめ方について講師からの注意があり、その中でも強く反響されることは、研究の妻づけ(論理性)が弱いということである。実践に至るまでに十二分に各面から前進させて考へてほしいということである。教育研究大会も本年度十九回を兼ねておこなわれ、相当な研究は積み重ねられてきておらず、それを生かした上に各自の研究をすすめてほしいということであった。またグループの研究とすることは困難なもので責任がうすれること、また更に大事なことは、ここで出されたような問題や話し合いをどのように各学校の先生方に広めていくか、ということ、全専考をさせられたが、ひとりひとりの教師が子どもたちをどう育てるかということ、常に考へ話し合うことではないか、ということをおこした。

研究部長 板橋 義夫

研究部長 板橋 義夫。先ず思い出されることは、理研会報のローカルプラン作成です。昭和二十三年頃だったと思ひます。研究部長は語々井中の若井清治先生、特別参加として女子

初範師範小の教諭先生も加わっていました。私は平山高先生と三年生の生物分野担当として、おそれなく進んでいこうと考へていました。その頃の研究活動は、何か勤務時間などを確保してお互いの意見をいっあう中で親近感が湧き、まさに同志の華まりといった感じでした。この伝統は今も受け継がれていますが、底辺が狭がらな、という感じがします。

また部会毎に各校の主任がみんな自発的に巡回視察を行なったことを思い出します。理科委員はアルコールランプと試験管くらいしかないので、その先生の手前の準備がなかりよるな、よった整備のしかたが多かったように思います。

部会の巡回視察も理科担任どうしの連絡の盛りのあり、強めたようです。また、印刷部での簿の採集会や化石採集会なども参加から、現存より盛んであったような感じがします。

現在の組織では理研主任のみが研究部の活動に参加しているという現象がみられ、これはどうやら組織を広げるためにも、主任自らも参加するが、その他に同好者は随分参加し、会費も年々百円ぐらゐり、その人からは心から理研会報を配布する。内容も今の授業に役立つものにしていく、

知った上で参加もできるだろう。